

令和3年3月18日

令和3年度 海外展開促進事業にかかる企画提案募集要項

一般社団法人日本皮革産業連合会（以下、皮産連という）では、上記事業の委託先選定のため、企画提案募集を以下のとおり行う。

1 事業目的及び対象事業の概要

(1) 海外展開促進事業の目的

日本の革及び革製品の品質の高さやデザイン力を広く海外へPRし、日本の皮革産業の海外展開の機会を拡大する。

(2) 対象事業

(ア) 革製品

① Showroom Shanghai 10月展出展(中国・上海)

(<https://showroomshanghai.com/>)

開催期間：令和3年10月 4日間

会場：上海展覽センター

② Ontime Show 3月展出展(中国・上海)

(<https://www.ontimeshow.com/>)

開催期間：令和4年3月 5日間

会場：上海 West Bund Art Center)

(注：Ontime Show は主催者と出展交渉中のため、状況により Showroom Shanghai へ変更となる場合がある。)

③ POP UP イベント開催 (中国・上海) 開催期間：提案する。

④ POP UP イベント開催 (台湾・台北) 開催期間：提案する。

(イ) 革素材

APLF2022 (素材展) 出展 (中国・香港)

(<http://www.leatherfair.aplf.com/>)

開催期間：令和4年3月30日(水)～4月1日(金)

会場：香港コンベンション&エキジビションセンター)

(ウ) WEB・SNS等広報

(中国・台湾・香港を中心に世界へ)

(3) 上記(2)(ア)及び(イ)の参加者等

・参加者：皮革及び皮革製品を扱う国内に拠点を有する日本企業

- ・ 出展物 :
 - 革製品 : 革製品全般並びに以下のア、イいずれかを満たすもの。
 - ア 日本製の革製品
 - イ 日本製の革を使用した革製品 (製品の原産国を問わない)
 - 革素材 : 日本製の皮革

- ・ 参加者数 (それぞれ募集、選定を行う) :

Showroom Shanghai 10月展 :	10社
Ontime Show 3月展 :	10社
POP UP イベント (中国・上海) :	6社
POP UP イベント (台湾・台北) :	6社
APLF2022 (素材展) :	15社

- ・ 展示スペース (以下は見込み。変動する場合がある) :

Showroom Shanghai、Ontime Show、APLF2022 のジャパングースの位置、広さ、形状は主催者との調整で決まる。

Showroom Shanghai 10月展 :	120 m ² 程度
Ontime Show 3月展 :	120 m ² 程度

(注 : Showroom Shanghai と Ontime Show については、1塊とするか通路を挟んでとするかを提案する。)

POP UP イベント (中国・上海) :	提案する
POP UP イベント (台湾・台北) :	提案する

APLF2022 (素材展) :	170 m ² 程度
------------------	-----------------------

(注 : APLF2022 は通路を挟んでのブースとする。)

- ・ 各参加者の展示スペース :

Showroom Shanghai 10月展及び Ontime Show 3月展
: 横幅約 2.3m の 3段程度の棚又は同程度の展示スペース

POP UP イベント (中国・上海) :	提案する
POP UP イベント (台湾・台北) :	提案する

(注 : POP UP イベントについては、場所、時期、期間、イベント内容、広さ、およそその展示商品数、見込まれる効果を提案する。但し、販売にかかる費用は対象外とする(参加者(出展事業者)が費用負担し実施は可能)。場所はメンズ及びレディースの両方が出展出来る場所とする。)

APLF2022 (素材展)

: S管を使って革を掛ける横幅約 3m のポールを高さ約 1.8m 程度の辺りの壁に取り付け、更に、横幅約 1m × 奥行き約 70cm × 高さ 90cm 程度の展示台を設置する。ポールは L 字等でも

構わないが、その場合は角等の革が重なるスペースも考慮し、
横幅約 3m 分の革を掛けるスペースを確保する。

・通訳等

- : Showroom Shanghai 10 月展及び Ontime Show 3 月展
それぞれ日本語と中国語の通訳兼受付 5 名程度
- : APLF2022 (素材展) 日本語・英語・中国語の北京語・広東語
の通訳兼受付 7 名程度
- : POP UP イベント (上海、台北) 各事業に必要な通訳等の数を
提案する

(4) 上記 (2) (ウ) WEB・SNS 等広報について

本事業の効果を上げるため、Web、SNS、e-mail、電話等で広報や集客を行う
ものとし、適切と考える内容を提案する。

2 委託業務内容

皮産連が実施する上記 1 (2) の対象事業に関して、下記業務を行う。

- (1) 展示会主催者及び POP UP イベント関係企業 (以下「展示会主催者等」という。) との事業にかかる全ての連絡交渉、調整 (展示会主催者等への参加者の参加申込み、ブース位置の選定交渉及び出展料・ブースロースペース代の支払い等に関する連絡を含む。)
※ロースペース代とは床代を言う。
- (2) 展示会及び POP UP イベント (以下「展示会等」という。) に必要な造作の企画、施工及び撤去及びこれら業務のための展示会主催者等との連絡調整 (日本らしさを出しながら、施設全体の統一感を持たせる。展示会の一参加者の展示スペースは横幅約 2.3m の 3 段程度の棚又は同程度、APLF 素材展の一参加者の展示スペースは S 管を使って革を掛ける横幅約 3m のポールを高さ約 1.8m 程度の辺りの壁に取り付けると共に横幅約 1m×奥行き約 70cm、高さ 90cm 程度の展示台を設置し、各社の看板も設置する。展示スペース及び展示棚の各段に十分な明るさを確保する。施設全体の看板、商談コーナー、収納スペースを設け、展示品を輸送した空段ポールも収納スペースに収納する。夜間の展示品の盗難対策を講じる。APLF 素材展の革は夜間も展示した状態で盗難対策を講じる。)
- (3) 展示会等の通訳と受付スタッフの手配。参加者の求めがあれば参加企業の専属通訳の仲介及び連絡を行うが費用は参加者負担とする。
- (4) 展示会等の施設の運営 (施工の立ち会い・確認、展示会等の期間中の監督者の配置を含む。また、皮産連の指示する展示会等の来場者及び参加企業へのアンケート調査の実施・翻訳・集計・分析、アンケート回答者

- 等に配付するノベルティの手配を含む。)
- (5) 皮産連が本事業で必要とする物資（パンフレット、アンケート、アンケート回答者等に配付するノベルティ等）の輸送業務及びこれらの業務のための展示会主催者等及び公式輸送業者との連絡調整
出展商品の輸送関連業務は参加者の求めがあれば輸送業者との仲介及び連絡を行うが、費用は参加者負担とする。また、ワニ、ヘビ等のワシントン条約品目（バッグ、小物、靴、革等）も扱う輸送業者を紹介出来ること（日本及び展示会等の開催国における CITES 輸出・輸入許可の取得を含む）。参加者へ紹介する輸送業者は、展示会等において公式輸送業者等との輸送品の受け取り、引き渡しも行う。公式業者等との展示会等の開始前の引き渡し及びブースでの受け取りは搬入日（展示会前日）より前となる場合があり、ブースでの公式業者等との引き渡しは展示会最終日の翌日以降となる場合もある。
- (6) 上記（2）（5）に必要な展示会主催者等及び公式施工業者並びに公式輸送業者等への支払（施工にあたっては電気幹線費用の支払いを含む。但し、皮産連が行う展示会主催者への出展料及びブースロースペース代の支払い（具体的には、【Showroom Shanghai】出展料（Rental Price）、【Ontime Show】出展料（床代にあたる費用）、【APLF2022】出展料（Raw Space）、登録料（Registration Fee for APLF.com）、保険料（Insurance Participation fee）を除く）
- (7) それぞれの展示会等に適した参加者募集及び有識者による選定委員会の運営を行い、選定委員会に要する費用を支払い、選定委員会の手配や連絡も行う（選定委員を皮産連が指定することもできる。）。委託先は参加者の提出した展示会等の応募書類の確認も行う。
- (8) 展示会等の参加者説明会の開催等
参加に必要な情報を提供する。また、商談や POP UP イベントの効果を高めるために、出展製品に関する開催国市場の動向、効果的な展示会等準備の仕方、商品展示・来場者へのアピール方法、展示会等の期間中及び終了後のバイヤーや消費者との商談の進め方等のノウハウを説明会や面談等の方法で提供する。各展示会等の情報提供は原則として別々に行う。
- (9) 参加者との連絡調整業務
- (10) 展示会等の広報・バイヤー・消費者の集客業務（バイヤー・消費者の招聘、プレスを通じた広報、パンフレット作成、メールマガジン発行、プレスリリース発行、ホームページ・SNS作成、看板・バナー、ショールームの活用等を適宜行う。ホームページ作成にあたっては皮産連がサブドメインを提供することができる。）。なお、参加者の求めがあればバイヤー・消費者との連絡を代行する業者を紹介する。
展示会主催者等や会場が提供する広報等を活用する場合、その料金は委

託費に含める。

- (11) 展示会主催者等が提供する有料・無料の広報・ファッションショー等のサービス内容を参加者へ紹介し、サービスを利用する参加者の申込みを手伝う。サービス利用にかかる費用は参加者負担とする。
- (12) 参加者の渡航・現地滞在については、参加者の求めがあれば旅行会社等の仲介は行うが、費用については参加者負担とする。
なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により参加者が現地に出張できない場合も、委託先が事業を実施する。
- (13) WEB・SNS等広報の提案内容に係る業務
- (14) その他、本事業を通じて日本の皮革産業をPRし、出展者の海外展開の機会を拡大するために有効と考えられる業務
- (15) 委託業務の報告書作成及び委員会等での報告
- (16) 委託業務の実施に必要な支払い
- (17) 参加企業から参加負担金は徴収しないが、ブース造作等において参加者がオプションを希望し、皮産連が認めた場合は、オプションにかかる費用を委託先が参加者から徴収し、支払う場合はある。

3 企画提案書の内容

- (1) 展示会等でのキービジュアル、ブースレイアウト、装飾イメージの提示。
POP UP イベントの場所、時期、期間、イベント内容、広さ、おおよその展示商品数、通訳兼受付の数、見込まれる効果の提示。
- (2) 参加者説明会等での開催国市場の動向、展示会等の準備・展示・来場者へのアピール・商談に関するノウハウの提供
- (3) バイヤー・消費者・プレス等への広報・集客
- (4) バイヤー・来場者への参加者及び出展物等の情報提供
- (5) 参加応募者への対応
- (6) 展示会等での展示・商談への対応
- (7) アンケートの作成・配付・回収・翻訳・集計・分析の方法
- (8) WEB・SNS等広報の提案内容
- (9) その他、本事業を通じて日本の皮革産業をPRし、参加者の海外展開の機会を拡大するために有効と考えられる業務
- (10) スケジュール
- (11) 開催地それぞれにおける運営体制（日本の担当者は各展示会等それぞれ1名以上、重複する場合は合計2名以上、参加者募集期間中は2名以上設置する。契約期間中、毎営業日、日本で連絡のつく体制を整える。）
- (12) 関連業務の実績

4 事業実施期間等

委託契約締結日～令和4年4月8日（金）（業務着手は契約締結後。）。

5 応募資格

日本に拠点を有する法人で、本事業を行うために必要な能力、組織、人員、取引関係、経営基盤、技術基盤、資金力等を有すること。

過去に展示会等の運営実績があること。

複数社による提案の場合は、意思決定と運営に責任を持つ代表社を定めること。委託契約は代表社と締結し、委託費は、皮産連からその代表社へ支払う。

必要な資料の提出や会議への参加をすること。

本事業の企画提案募集に関する説明会に参加すること。

6 契約の要件

(1) 契約形態及び予算規模

契約形態は委託契約とし、予算規模上限（税込み）は、49,700,000 円とする。提案時の見積書は1つで構わないが、契約は令和3年度費用、令和4年度費用に分けて締結する。

また、事業により委託先を分けて選定する場合がある。

新型コロナウイルスの影響により事業を変更または中止とする場所がある。中止とした場合、実施に要する費用及び関連費用を委託費から減額する。

なお、展示会（「1（2）（ア）①、②、（イ）」）の出展料及びブースロースペース代は、別途、皮産連が展示会主催者等へ直接支払う。

(2) 成果物の提出及び委託金の支払い

事業終了後に、別に定める事業報告書の提出が必要。委託金の支払いは、原則として委託業務終了後に確定検査を経て行うが、必要な場合は業務終了前に概算払いを認めることがある。

7 応募手続

(1) 募集締切 令和3年4月19日（月）16時（必着）

(2) 応募書類（以下の①～④を各20部及び⑤および⑥を各2部、郵送又は持参のこと。プレゼンテーションに参加する企業は、プレゼンテーションの当日に別途、指定部数を持参すること。）

① 事業に関する企画提案書（A4サイズ・横で表紙を除き40ページ以内）

② 事業に関する見積書（展示会「1（2）（ア）①、②、（イ）」の出展料及びブースロースペース代を除く）

消費税欄を設け、外税表記とし、一般管理費は事業費・人件費の10%以内、再委託費・外注費は一般管理費の対象外とすること。人件費の他費用との流用は認めない。委託先従業員の人件費を計上する場合は、役職と時間単

価、委託業務予定時間を明記すること。海外送金にかかる手数料は、事業費に盛り込んで構わないが、国内送金手数料は一般管理費から支出する（海外企業が委託先となる場合においても海外企業が所在する国の国内送金手数料は一般管理費からの支出とする。）。

海外企業が応募する場合は、受取銀行口座において予算規模上限額合計額の受け取りが可能なことを事前に確認する。また、委託先が海外企業となった場合の皮産連から委託先への海外送金は円建てで行い、「経由銀行・受け取り銀行で発生する手数料」は「お受取人負担」とする。経由銀行・受け取り銀行で発生する手数料は管理費から支出しても構わないが、管理費を超える金額となった場合でも委託先の負担とする。皮産連が海外送金する金額を委託額とする（皮産連が海外送金する金額と海外企業の銀行口座への入金額に差が生じた場合も同様とする。）。

③ 「3（1）～（12）」の各項目が企画提案書の何ページに記載されているかの一覧表

④ 会社概要（別紙参照） 20部

⑤ 直近過去2年分の財務諸表 2部

⑥ 企業パンフレット 2部（外国語の場合は翻訳を付けること）

(3) その他

(ア) 応募書類は日本語で作成すること。

(イ) 見積書は日本円で積算すること。

(ウ) 皮産連から委託先へは日本円で支払う（委託先が海外企業で海外の銀行口座へ振り込む場合も同様とする。）

(エ) 応募書類は返却しない。

(オ) 企画提案書の作成費用は支給しない。

(カ) プレゼンテーションに参加する費用（旅費等）は支給しない。

8 審査・採択・委託業者決定（海外展開促進委員会で審査・決定）までのスケジュールについて

(1) 事業に関する説明会は実施しないので、質問がある場合は4月12日（月）までに日本語で e-mail または fax で問い合わせる（質問受付時間:平日の9:00～16:00）。

(2) 募集締切 4月19日(月)16時必着

(3) 第一次審査 提出書類による審査
応募多数の場合は、二次審査前に企画提案書の評価を行い、プレゼンテーションに進む企業を絞りこむ。その結果は、メールで連絡する。

(4) 第二次審査 プレゼンテーション 4月28日（木）
プレゼンテーションの時間は30分程度、質問時間は10分程度。
紙媒体でのプレゼンテーションをすること。

(5) 委託先決定 5月中

第一次審査、第二次審査の結果は、それぞれ該当者に通知する。なお、採否の理由に関する問い合わせには応じない。また、選定された委託先と、速やかに打合せを予定している。

(6) 留意事項

(ア) 応募企業の創意工夫により、本事業を通じて日本の皮革産業を広く世界に PR し、出展者の海外展開の機会を拡大することが求められるので、応募企業がこのために重要と考える課題と具体的活動案を分かりやすく提案すること。

(イ) 全事業を通じた効率的な運用を行うこと。

9 契約について

採択された企画提案を基礎として、契約条件について皮産連と採択された企業で調整の上で、契約を締結する。この過程で、事業内容、委託金額等に変更が生じる可能性がある。また、皮産連が必要とする条件に合致しない場合は、契約締結ができない可能性がある。

10 支払額の確定方法

委託業務終了後、委託先で確定検査を実施し、委託先から提出される実績報告書並びに領収書及び見積書・請求書等費用明細の分かる書類・支払い時の為替レートの分かる書類、帳簿等の証拠書類を審査し・確定する。

支払い額は、契約金額の範囲内であり実際に支出を要したと認められる費用の合計となる。

支出額及び内容について厳格に審査し、これを満たさない経費は、支払い額の対象外となる可能性がある。

11 問い合わせ先及び応募書類提出先

一般社団法人日本皮革産業連合会

〒111-0043 台東区駒形 1-12-13 皮革健保会館 7階

TEL 03-3847-1451 fax 03-3847-1510

E-mail : overseas@jlia.or.jp

担当：松月、島岡

(参考) 令和元年度（A P L F 展は平成30年度）の海外展示会出展事業の結果概要（連合会 HP に掲載したプレスリリース）

2019年 MIPEL 9月展

https://www.jlia.or.jp/files/file2_20190930160655118.pdf

2020年 MIPEL 2月展

https://www.jlia.or.jp/files/file2_20200303150119509.pdf

2019年 COTERIE 9月展

https://www.jlia.or.jp/files/file2_20191015184118688.pdf

2020年 Project 展

https://www.jlia.or.jp/files/file2_20200317150329827.pdf

2019年 APLF 展

https://www.jlia.or.jp/files/file2_20190414205859825.pdf